KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立ラジコン動噴

DRS7530
DRS6530(T)
DRS6530(T)-12
DRS6530(T)-10

⚠ 警 告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

2003/04

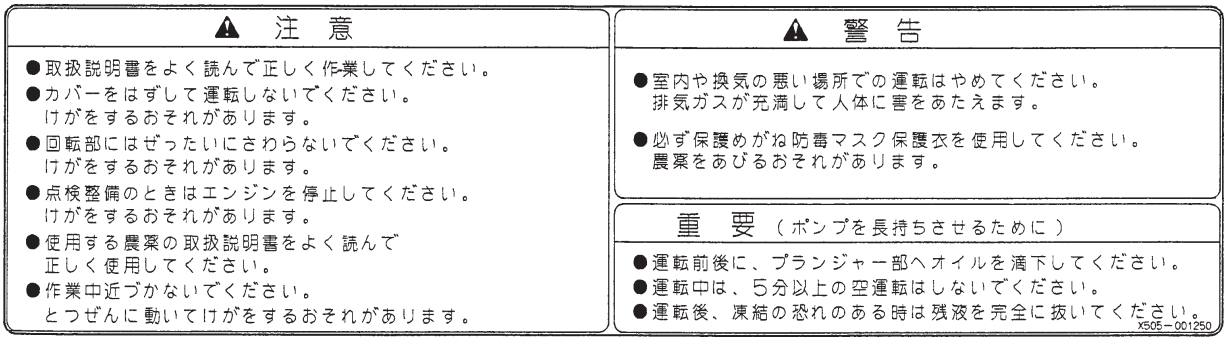
⚠ 注　意

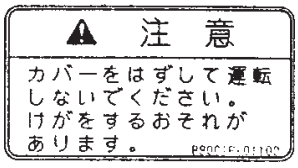
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように、紛失、汚損の恐れのない、すぐ取出せる所に必ず保管してください。**
- **この説明書が損傷により読めなくなった場合、紛失した場合は、販売店より新しく取扱説明書を購入し、常に参照できるよう保管してください。**
- **この取扱説明書で解説している機械を、貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書を読ませ、充分な指示、訓練を行なった後、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。**
- **製品を譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。**
- **ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。**

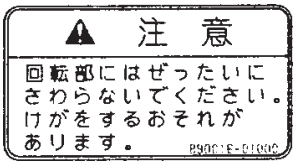
警告表示ラベルについて

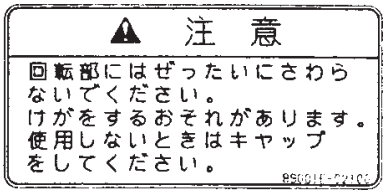
- **この取扱説明書で解説されている機械には、下記の「警告表示ラベル」が貼付してあります。ご使用前に「警告表示ラベルの位置」で確認し、ラベルの意味を理解してください。**
- **万一、ラベルが摩滅したり破損して読めなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店より新しくラベルを購入し、「警告表示ラベルの位置」に指示してある箇所に貼り、常にラベルが読める状態を維持してください。**

警告表示ラベル













はじめに

共立ラジコン動噴をお買い上げいただき、ありがとうございます。

● このラジコン動噴をこの取扱説明書に書かれている目的以外に使用しないでください。

● この取扱説明書には、組立や操作、整備に必要な事項が書かれていますので正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。

目 次

はじめに …… 1
各部の名称 …… 2
警告表示ラベルの位置 …… 5
正しい作業のために …… 6
運転前の準備 …… 13
操作方法（コントロールボックスによる） …… 16
操作方法（送信機による） …… 18
散布作業 …… 21
輸送・移動時の注意 …… 23
点検・整備 …… 23
不具合と対策 …… 26
長期保管 …… 28
かくはん機を取付ける場合 …… 28
仕　様 …… 29

・説明書の内容は製品の標準装備を基本に構成していますが、特別注文品（オプション）やアクセサリを使用する場合も含まれます。
・本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
・単位はＳＩ単位を使用しています。（　）内は参考値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。

⚠ 警　告

● 正しい作業のための警告・注意を注意深くよく読んで理解すること。
● 正確で正しい操作のために、この取扱説明書を必ず読むこと。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

丛に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

重　要

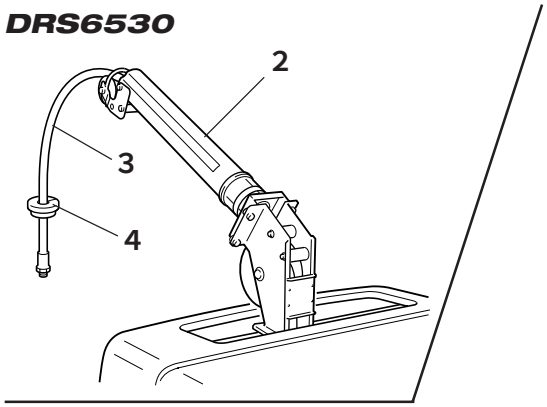
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

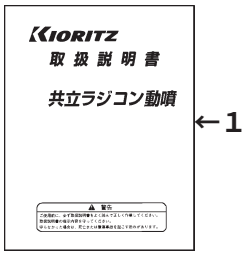
⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

各部の名称

DRS6530

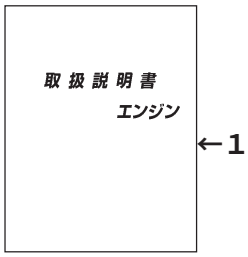




←1

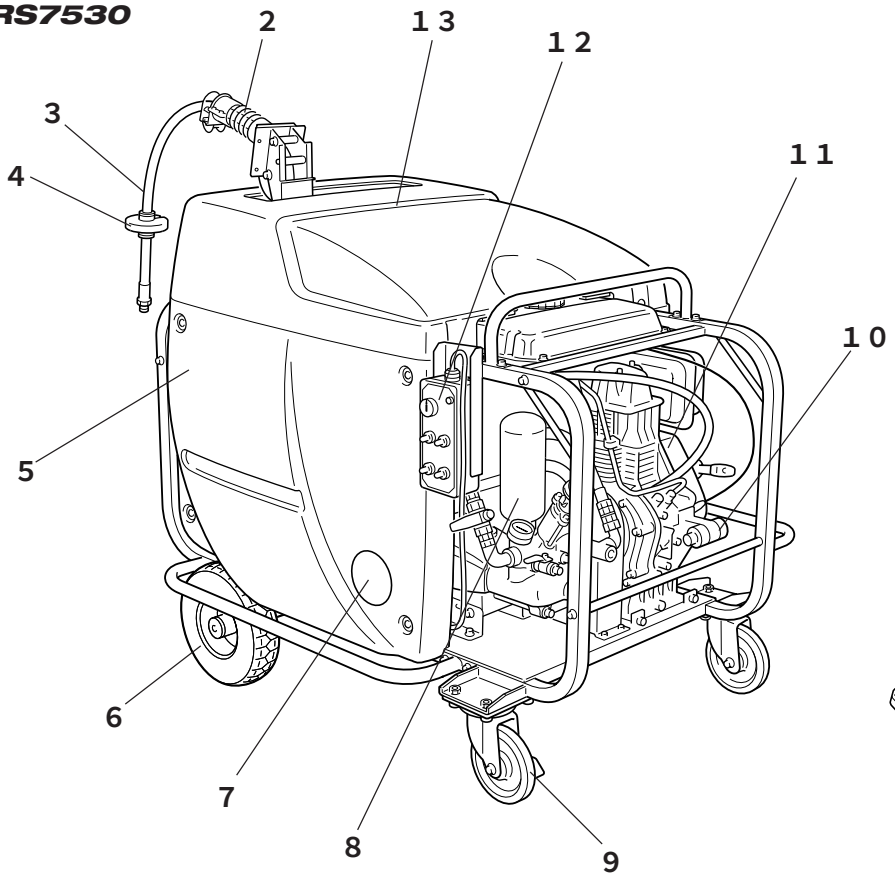


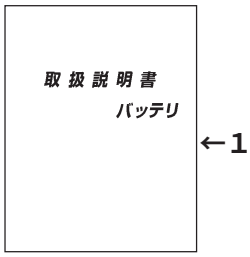
←1



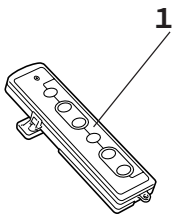
←1

DRS7530





←1



DRS65_7530-01,02

付　属　部　品　一　覧　表					
名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数
吸水ホース	1	マフラ噴出口	1	ラジコン送信機	1
余水ホース	1	13．8mm 旧ネジアダプタ	1	単三乾電池	3
ストレーナ	1			防毒マスク	1
先ホース	1	オイラ	1	バッテリ液	1
ホーススストッパ	1	スパナ（14×17）	1	取扱説明書（本機）	1
結束バンド	1	スパナ（10×12）	1	取扱説明書（動力噴霧機）	1
吸水ホース口金パッキン	1	ドライバー（＋，－）	1	取扱説明書（エンジン）	1
吐出ホース口金パッキン	1	エンジン付属工具袋	一式	取扱説明書（バッテリ）	1
エンジンキー	2	かくはん軸（ビス付）	一式		

各部の名称

１．取扱説明書 ―― 機械をお求めになったとき必ず付いています。
各説明書を機械を使用する前に必ず読んでください。また正しい操作方法を再度確認する場合に備えすぐ取出せる場所に、必ず保管してください。

２．ホースガイドアーム ―― スプレーホースの巻取り、繰出しのガイドをします。

３．スプレーホース ―― 散布用のホースです。

４．ホースストッパ ―― ホース巻取り時の巻込み防止具です。

５．サイドカバー ―― 回転部に触れるのを防ぐためのカバーです。

６．車輪 ―― 移動時の走行用です。（空気入り）

７．かくはん軸取出しキャップ ―― かくはん用動力取出し口です。
かくはん機を接続する場合、このキャップを外して装着します。

８．動力噴霧機（動噴） ―― 薬液を吸込み、スプレーホースへ圧送します。

９．自在キャスタ ―― ロック付の自在キャスタです。走行時以外はロックします。

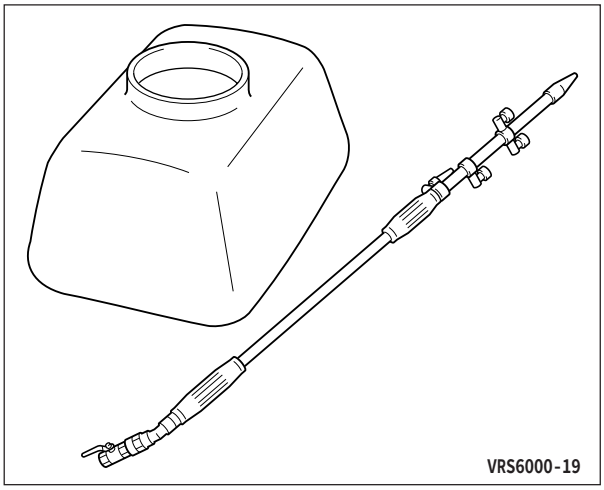
１０．ソレノイド ―― エンジン停止用のソレノイドです。

１１．エンジン ―― 動噴と巻取りを行なう動力源です。

１２．コントロールボックス ―― 手動操作用のスイッチが配置されています。（４ページ参照）

１３．上部カバー ―― ホース並列巻装置の安全カバーです。

１４．送信機 ―― 遠隔操作させるための電波を発信させます。（４ページ参照）

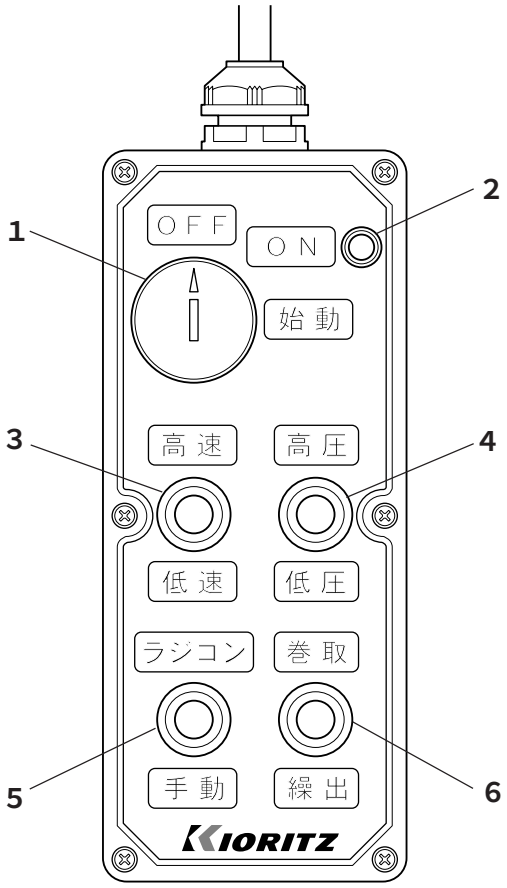


お客さまがご用意するもの

スパナ（各種）、ノズル、コック、薬液タンクなど

● ノズルの選択について
ノズルの吐出量が動力噴霧機の吐出量より多いと適切な散布作業ができません。ノズルを選ぶときは仕様を確認し、余水ホースから戻る薬液量が全吐出量の１０％以上になるようにしてください。
ご不明な点は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

◎コントロールボックスおよび送信機の説明



コントロールボックスの名称とその機能

１．キースイッチ
電源のＯＮ／ＯＦＦとエンジンの始動／停止をします。
DRS7530 は、キースイッチをＯＮにするとブザーが鳴り、エンジン始動後、ブザーが鳴り止みます。

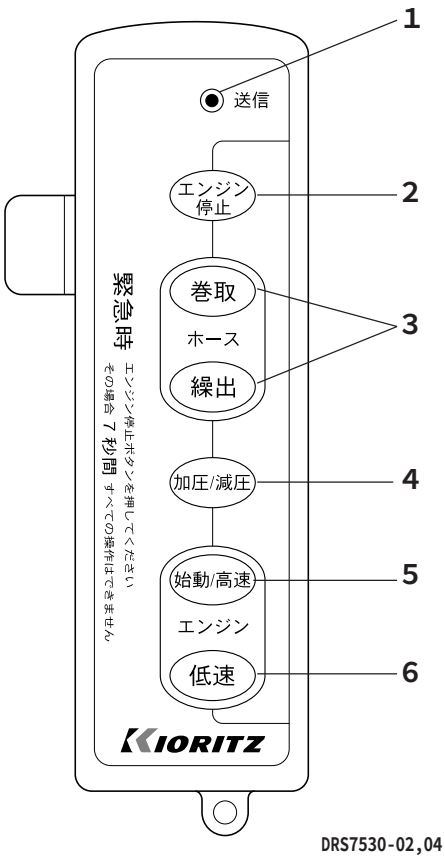
２．電源パイロットランプ
電源投入時、点灯します。

３．スロットルスイッチ
エンジン回転を制御します。

４．圧力切替スイッチ
ノズル圧の高圧／低圧を切替えます。

５．ラジコン切替スイッチ
ラジコン／手動の操作を切替えます。

６．巻取／繰出スイッチ
ホースの巻取／繰出をします。



DRS7530-02,04

送信機の名称とその機能

１．送信ランプ
電波を送信したとき０.５秒間ランプが点灯します。
ボタンを押し続けてもランプは点灯しません。
巻取･繰出のみ､ボタンをはなしたときも点灯します。

２．エンジン停止ボタン
エンジンを停止します。
DRS7530 は、エンジンが停止するとブザーが鳴ります。

３．巻取・繰出ボタン
ボタンを押している間だけ、ホースの巻取・繰出をします。

４．加圧／減圧ボタン
ボタンを押す毎に高圧／低圧を切替えます。

５．エンジン始動／高速ボタン
- エンジンが停止しているとき…ボタンを押すと３秒後にセルモータが回ります。
  DRS7530 は、エンジンが始動するとブザーが鳴り止みます。
- エンジンが回転中のとき……ボタンを押している間だけエンジンのスロットル操作をし高速にします。（エンジン最高回転数まで）

６．エンジン低速ボタン
ボタンを押している間だけエンジンのスロットル操作をし低速にします。（エンジン最低回転数まで）

警告表示ラベルの位置

1.

⚠ 注 意

- ●取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
- ●カバーをはずして運転しないでください。
  けがをするおそれがあります。
- ●回転部にはぜったいにさわらないでください。
  けがをするおそれがあります。
- ●点検整備のときはエンジンを停止してください。
  けがをするおそれがあります。
- ●使用する農薬の取扱説明書をよく読んで
  正しく使用してください。
- ●作業中近づかないでください。
  とつぜんに動いてけがをするおそれがあります。

⚠ 警 告

- ●室内や換気の悪い場所での運転はやめてください。
  排気ガスが充満して人体に害をあたえます。
- ●必ず保護めがね防毒マスク保護衣を使用してください。
  農薬をあびるおそれがあります。

重 要（ポンプを長持ちさせるために）

- ●運転前後に、プランジャー部へオイルを滴下してください。
- ●運転中は、5分以上の空運転はしないでください。
- ●運転後、凍結の恐れのある時は残液を完全に抜いてください。

X505-001250

2.

⚠ 注 意

カバーをはずして運転
しないでください。
けがをするおそれが
あります。

3.

⚠ 注 意

回転部にはぜったいに
さわらないでください。
けがをするおそれが
あります。

4.

⚠ 注 意

回転部にはぜったいにさわら
ないでください。
けがをするおそれがあります。
使用しないときはキャップ
をしてください。

5.

⚠ 注 意

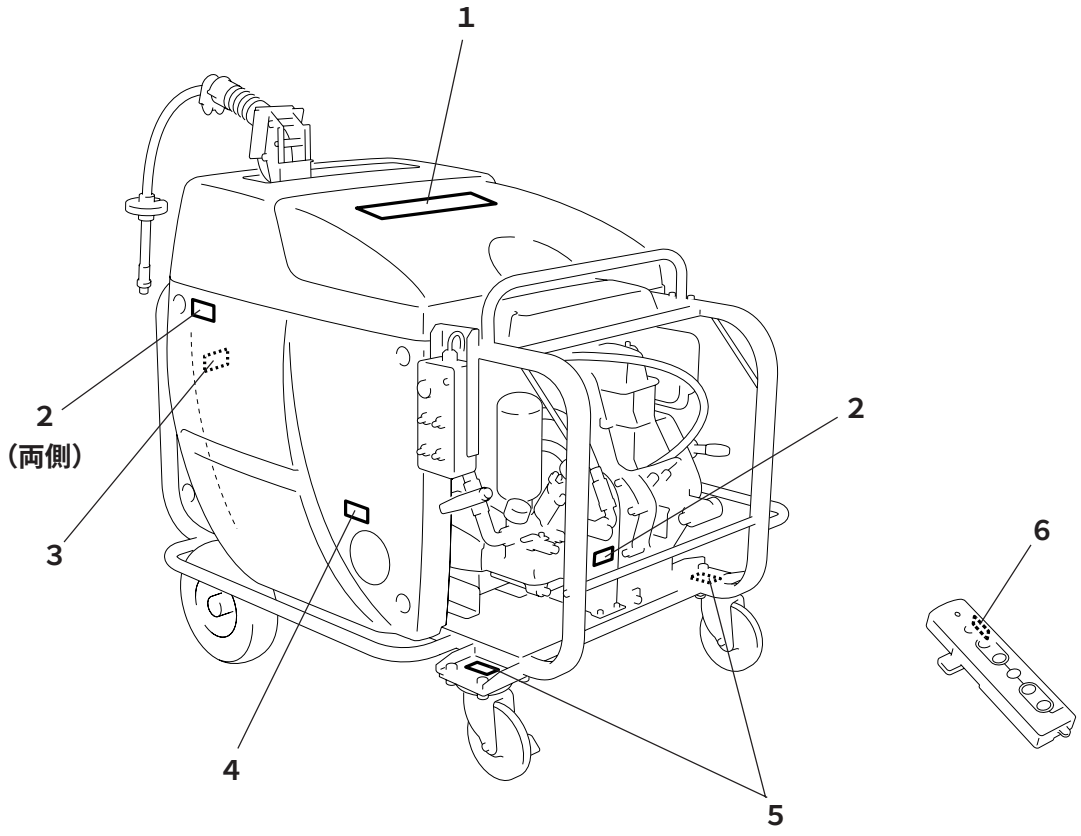
移動時以外は必ず
固定してください。

6.

⚠ 注 意

送信機の操作は作業者が行って下さい．
ショックを与えたり水をかけないで下さい
誤作動によりけがをするおそれがあります．

890016-05500



DRS65_7530-03

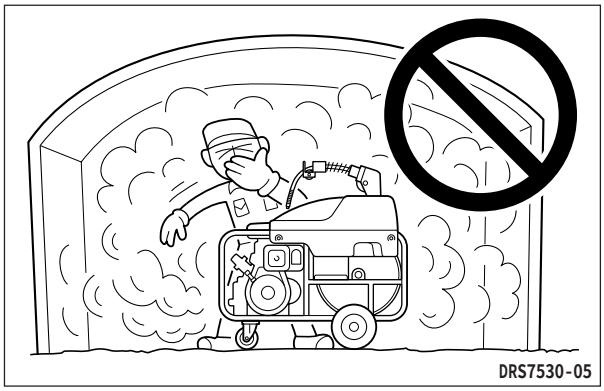
正しい作業のために

⚠ 注　意

作業計画を立て、この取扱説明書を参照し、適切な部品を選んでください。作業に合わない部品を使うと、動力噴霧機が故障したりご利用になる方がケガをすることがあります。ご不明な点は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

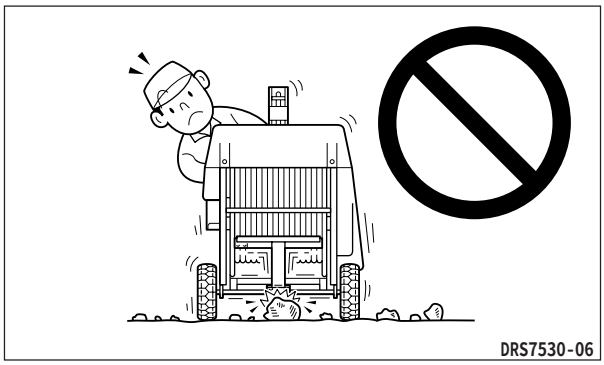
重　要

この動力噴霧機の仕様は一般農薬用です。特殊農薬や多種農薬を混合して使用する場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。


DRS7530-05

⚠ 警　告

エンジンの排気ガスには、死に至る有毒なガスが含まれています。室内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。

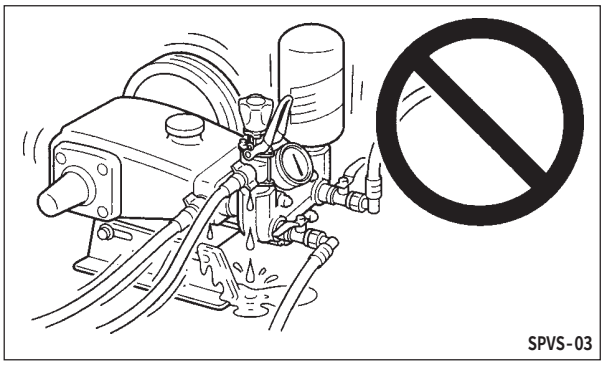

DRS7530-06

- **最低地上高（９０mm）以上の凸凹があるところでは、本機を移動させないでください。**


HT100-06

からだの状態

- **病気のときや体調が悪いとき、妊娠中の場合、また、アルコールや体の機能に影響をおよぼす薬を飲んだときには作業を行なわないでください。**



作業前の点検

● 各部品がきちんと取付けられているか確認してください。ホースの取付けなど配管部が正しく締付けられていないと、空気の吸込みや内部液が漏れることがあります。

重　要

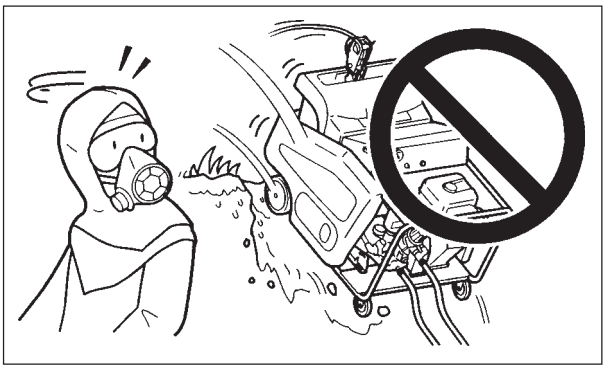
吸込ストレーナは使用毎に清水で掃除してください。詰まっていると脈動や振動の発生原因となります。



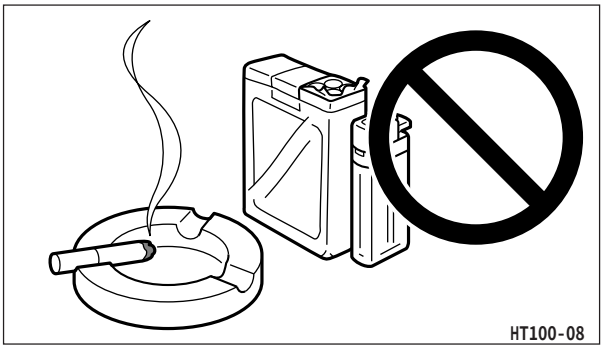
● 子供が近くにいないことを確認してください。

⚠ 警　告

ラジコンでの遠隔操作の場合には、特にエンジン始動、ホースの巻取り、繰出し時に周囲に人のいないことを確認してください。



● 本機を不安定な場所や転倒の恐れがある傾斜地に置かないでください。



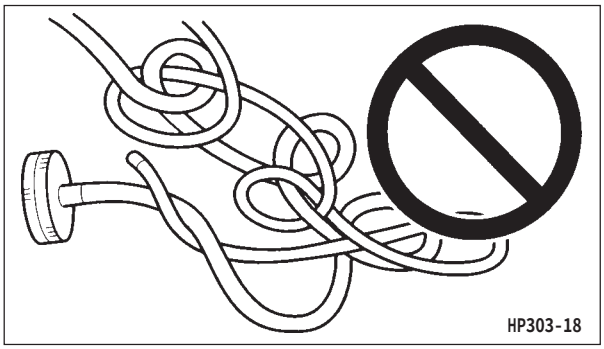
⚠ 警　告

燃料を扱うときは、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。

作業中の注意

重　要

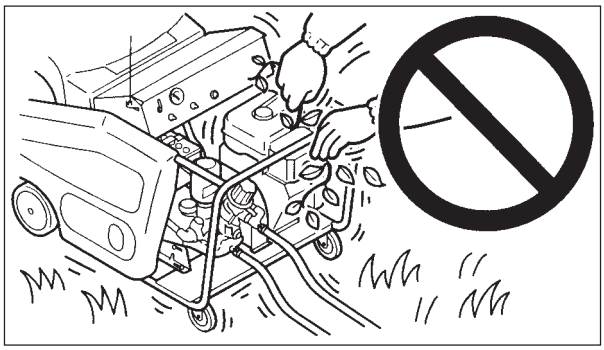
５分間以上､カラ運転を行なわないでください。動噴の寿命を縮め、故障の原因となります。



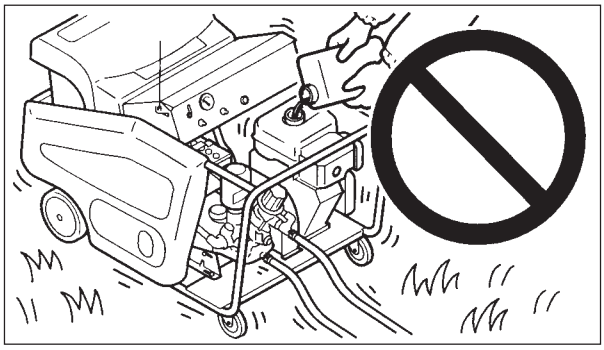
● **ホースが絡まったり、ねじれたりしないように気をつけてください。**

重　要

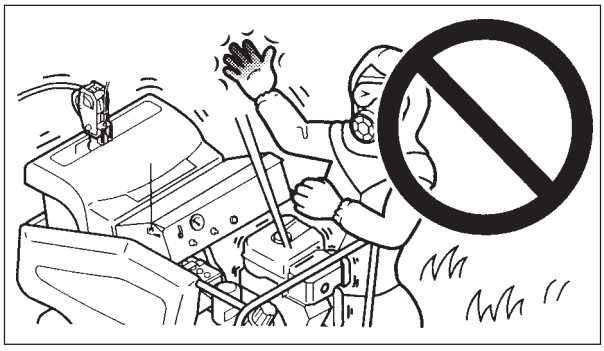
大型貯水槽や河川から吸水し、長時間使用するとエアチャンバの空気が水に溶け、抜けてしまうことがあります。動噴の故障の原因となりますので、２時間毎に必ず吸込ストレーナを水から出し、余水ホースから水が出なくなるまで運転してください。



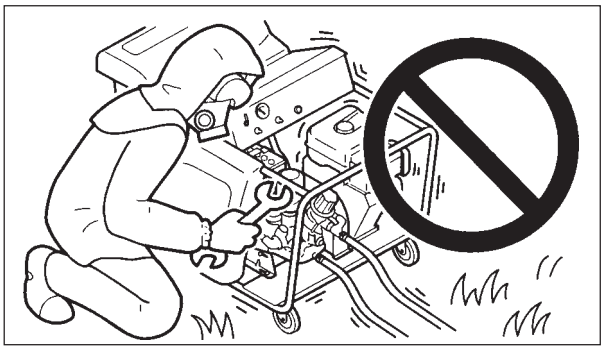
● **本機やエンジンに絡み付いた草などを取除くときは、必ずエンジンを停止してください。**



● **燃料を補給するときは､必ずエンジンを停止して、エンジンが冷えてから行なってください。**



● **運転中は回転している部品（Ｖベルトなど）や高温部（エンジン、マフラなど）に触れないようにしてください。**
停止直後のエンジン､マフラはたいへん高温です。手を触れないようにしてください。

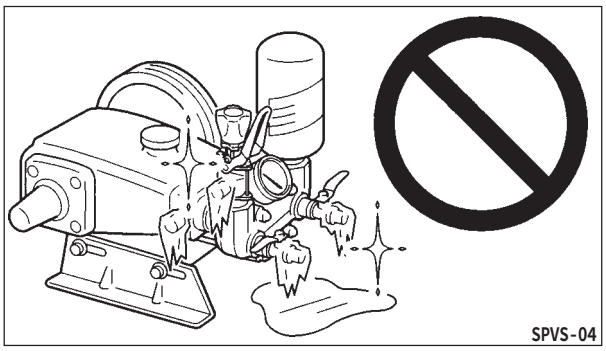


点検・保管の注意

- 修理、清掃などの作業を行なうときは、必ずエンジンを停止してください。
- 指定以外の部品を使用したり、本機の改造を行なったりしないでください。

重　要

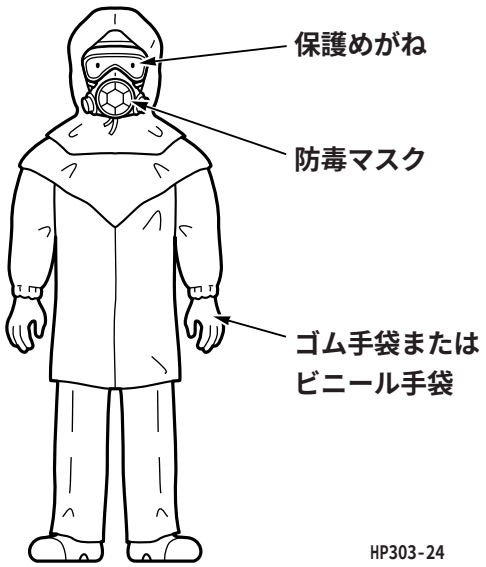
点検・整備は、本取扱説明書およびエンジン・動噴・バッテリの各取扱説明書にしたがって行なってください。



- 保管する前に必ず水を抜いてください。冬期には凍結することがあります。

⚠ 警　告

適切な服装、保護具を身に付けないと事故が起きることがあります。正しく作業するために、かならず適切な服装、保護具を身に付けてください。



服装について

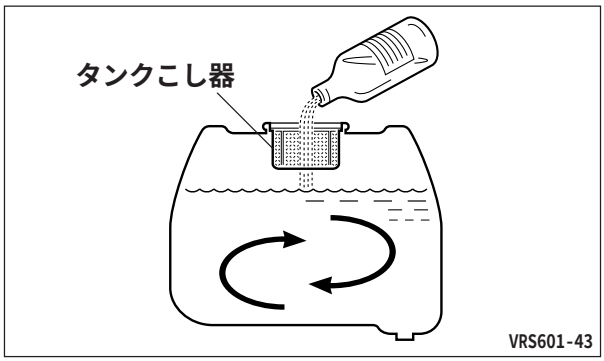
- 滑らない底が付いた靴をはいてください。つま先のあいた靴、サンダル、はだしで散布作業を行なわないでください。
- 農薬を散布する場合、頭、あし、その他の外部にさらされる部分を保護する衣服、保護具を身に付け、農薬が皮ふに触れないようにしてください。
- 農薬が浸透しないような防水性、汗をかかないような通気性のよい衣服を身に付けてください。

農薬散布の保護具について

- 農薬を吸込まないために、防毒マスクを正しく着用してください。
- 目を保護するため､保護めがねを付けてください。
- ゴム手袋またはビニール手袋を使用してください。
- 農薬にかぶれやすい人は、保護クリームを顔、首、手首などに塗ってください。
- タオル、手ぬぐい、水などを、汗を拭いたり顔を洗うために用意してください。

重　要

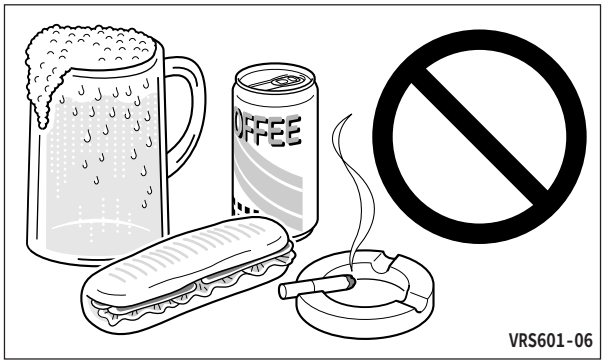
薬剤は濃度が均等になるように溶かしてください。固まりが残ると、ノズルの目詰まりの原因となります。



⚠ 警　告

- **夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を絶対に操作しないでください。**
- **風が強いときには絶対に散布を行なわないでください。風向きが急に変わり、予期しない方向へ農薬が飛んでしまうことがあります。**





農薬散布について

⚠ 警　告

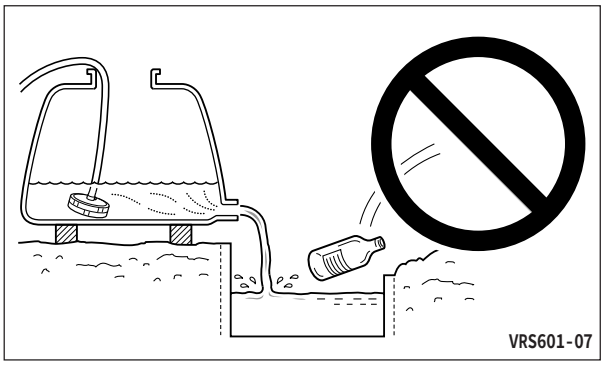
農薬に関する法令および注意事項は、農薬の種類、使用する場所などにより異なります。そのため、この取扱説明書に農薬に関するすべての法令、注意事項を記載することはできません。お客さまが使用する農薬の使用方法、ラベル表示、関連する法令、注意事項をよく理解してから、散布作業を行なってください。

農薬散布前の注意

- **農薬のラベルには必要な注意事項が書かれています。いつも使用している農薬でもラベルの内容に変更がある場合があります。使用する前に必ず読み、その指示にしたがってください。**
- **薬剤を溶かすときは、防毒マスク、ゴム手袋、保護めがねなどの保護具を着用してください。**
- **作業を行なう場所をよく調べ、作業者以外の人、子供、家畜、養蚕、養蜂、他の作物などが近くにないことを確認してください。**

農薬散布中の注意

- **散布作業は、日中を避け、涼しい朝、夕方に行なうようにしてください。気温が上がると農薬が空気中に上昇したり、気化します。また、体力も余計に消耗してしまいます。**
- **農薬がからだにかかるのを避けるため、風下の方を向き、風を背中に受けるようにして、後ろ側へ進みながら散布してください。**
- **農薬の散布はたいへん体力を消耗します。長時間の作業は避け、２時間を限度としてください。**
- **作業をしながらタバコを吸ったり食べ物、飲み物をとったりしないでください。タバコ、食べ物に付着した農薬がからだの中にはいることがあります。**



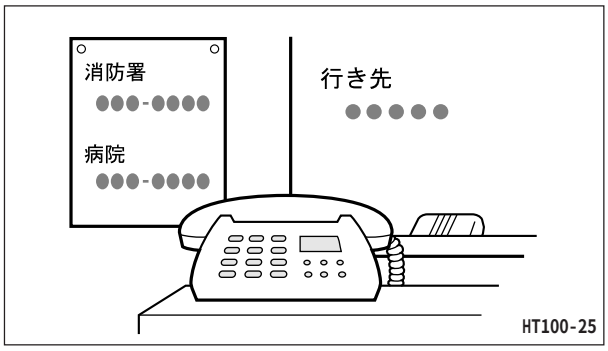
農薬散布後の注意

- 農薬が乾くまでは立入禁止の表示を置いてください。
- 農薬が残ってしまった場合は、川、下水道などに流さないでください。周囲に影響がない場所に散布してください。散布用にうすめた農薬は分解が早いので、残さないでください。
- 農薬の空き容器はきれいに洗い、適切な方法で処理してください。
- 農薬、器具の後かたづけが終わったら、手、顔など外部にさらされた場所を石けんでよく洗い、うがいをし、入浴をして全身をよく洗ってください。作業中に着ていた服は、他の衣服とは別に洗ってください。
- 農薬散布の後は飲酒をひかえてください。農薬を吸入した場合、体内の酵素の働きが低下します。このようなときにアルコールを飲むとさらに酵素の働きが低下し疲労の回復が遅くなります。



⚠ 警　告

作業中あるいは作業終了後に、からだに異常を感じたときは、すぐに作業を中止し医者に相談してください。使用していた農薬の種類を告げてください。



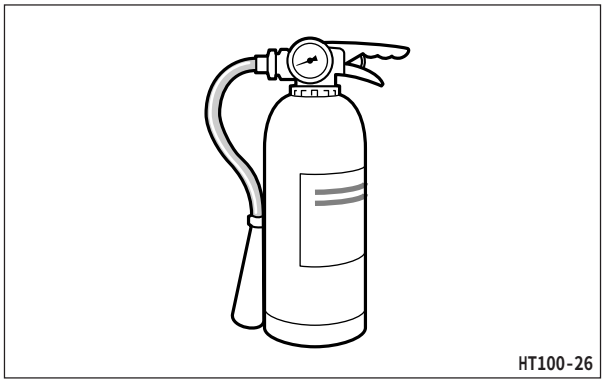
万一の事故に備えて

● 作業の前に

・万一の事故に備え、電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。
特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。

・単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷し動けなくなり帰れなくなった場合の対処として有効です。

・作業現場には、呼子（笛）を携帯してください。

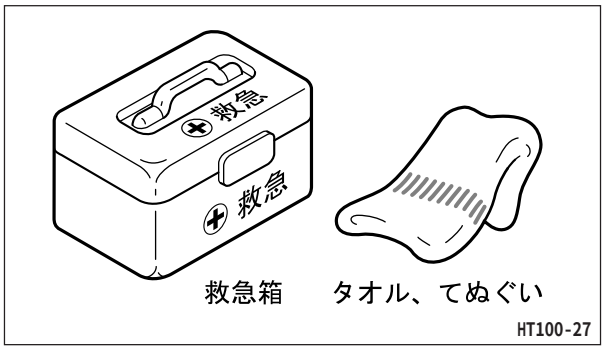


● 発火に対する備え

⚠ 警　告

作業中、万一、エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、機械から離れ、まず、自分の身体の安全を確保してください。

・自分の身体を、火災その他の傷害から守るように注意してください。
草木などに類焼しないよう注意してください。
シャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。



● ケガへの備え

・万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。

運転前の準備

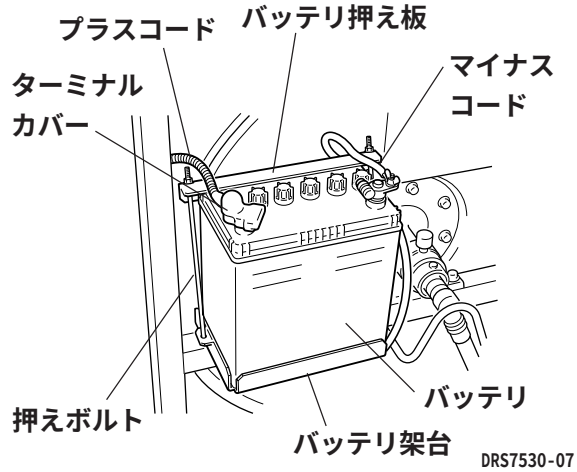
バッテリの準備

重　要

- バッテリの取扱説明書をよく読んでから作業してください。
- 本機の電気制御部分のトラブルを防ぐため、必ずシーズン使用前に充電をしてください。

⚠ 危　険

- バッテリの取扱いはバッテリ液、火気などに充分注意してください。
- バッテリの液量がバッテリの側面に表示されている下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用または充電をすると、バッテリの破裂（爆発）の原因となる恐れがあります。
- バッテリの液量がバッテリの側面に表示されている下限（LOWER LEVEL）以下で使用を続けると、容器内の各部位の劣化の進行が促進され、バッテリの寿命を縮めたり、破裂（爆発）の原因となる恐れがあります。
- バッテリのコードは押え金具などの金属部分に近づけないようにして確実に固定してください。接触（ショート）すると引火爆発や火災の原因となる恐れがあります。
  プラスターミナルにカバーがある場合は、きちんとカバーをしてください。
- バッテリの上またはバッテリカバーの上には、物を置かないでください。



1．バッテリに電解液を入れてください。注入の方法はバッテリの取扱説明書にしたがってください。

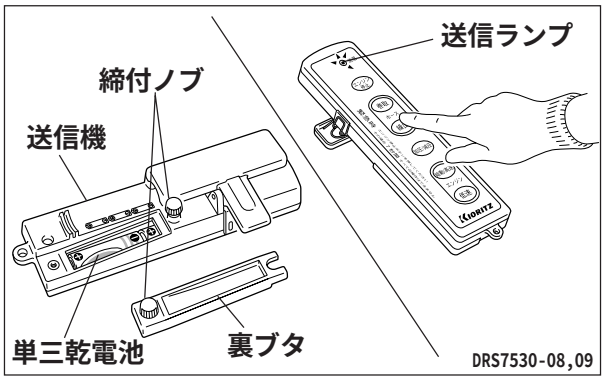
2．バッテリを図のようにバッテリ架台にのせ、バッテリ押え板、押えボルト・ナットで固定します。

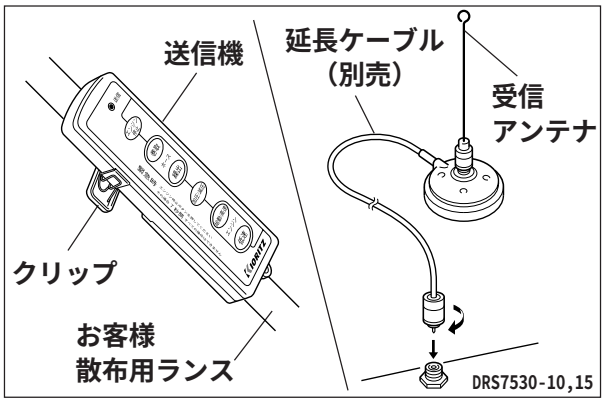
3．バッテリのプラスコードをプラスのバッテリターミナルに取付け、バッテリターミナルカバーをかぶせます。

4．バッテリマイナスコードをマイナスのバッテリターミナルに取付けます。

重　要

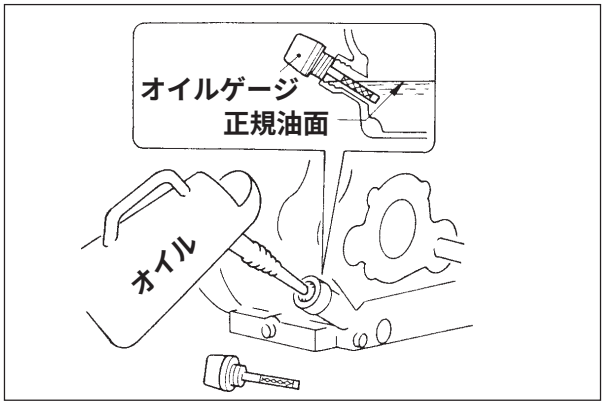
- バッテリターミナルが本機フレーム、バッテリ押え板に接触しないようにしてください。
- バッテリにコードを接続するときは、最初にプラス⊕端子、次にマイナス⊖端子の順に接続します。（外すときは逆にマイナス⊖、プラス⊕の順に外します。）

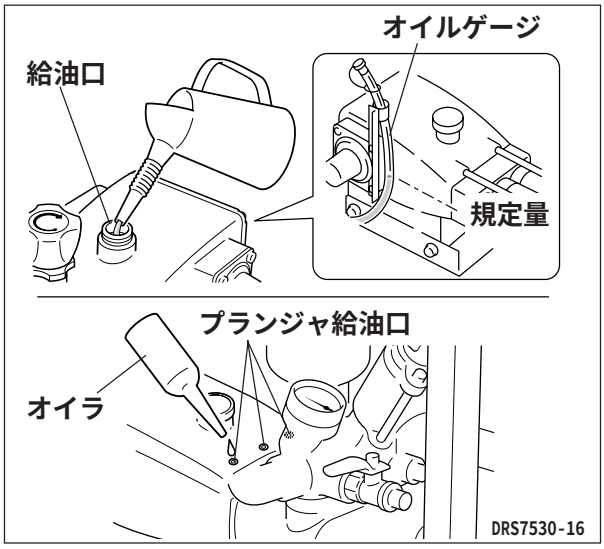




⚠ 注　意

周辺環境に電波障害を与える恐れのある場合には、使用を中断してください。





送信機の準備

１．送信機裏ブタの２ヵ所の締付ノブをゆるめて、裏ブタを開けます。単三乾電池３ヶをプラス・マイナスを間違えないように入れ、裏ブタを２ヵ所の締付ノブにより確実に閉めます。

２．各々のボタンを押して送信ランプが点灯するのを確認します。

３．送信機は散布用ランスにクリップでワンタッチ着脱が可能です。

４．受信状況が悪い場合には､延長ケーブル（別売・市販品）などで別置式にも可能です。

重　要

送信機は防滴形ですが、水没させたり、衝撃を与えたりしないでください。
保管時は室内に保管し、自動車内など高温多湿になる場所に保管しないでください。

重　要

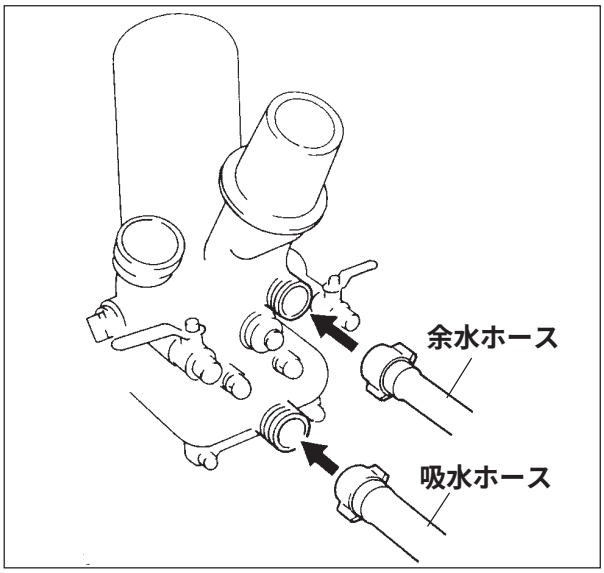
送信機の乾電池は３ヶ同時に、毎シーズン使用前に交換をしてください。
（電池寿命：連続使用時　約１００時間）
消耗した電池を使用すると誤動作を起こし、危険な場合があります。

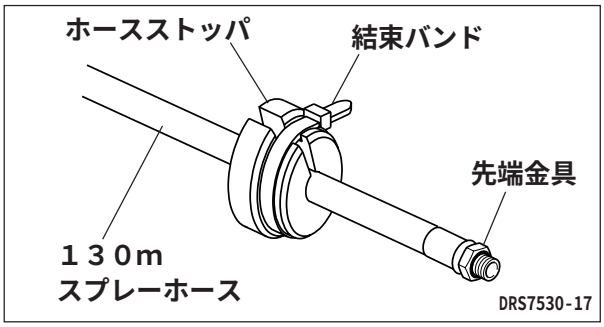
各部オイルを点検する

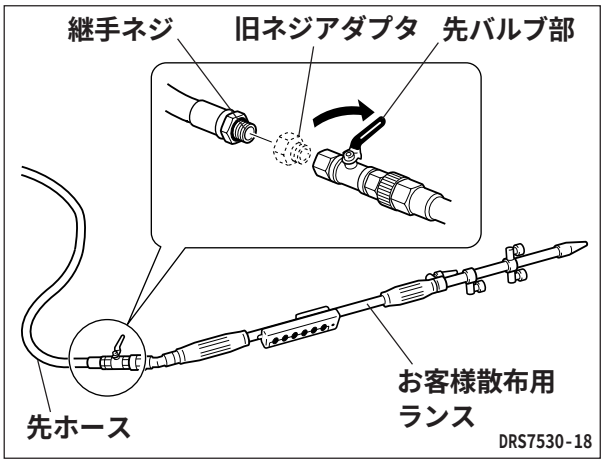
重　要

規定レベルより多く入れるとオイルが吹き出ることがありますので注意してください。

- **エンジンの取扱説明書にしたがい、クランクケースにオイルが規定レベルまで入っているか確認してください。**
- **オイルの汚れを点検し、汚れがひどい場合には交換してください。**
- **毎使用毎にオイルゲージで油量を確認します。**
- **動噴のプランジャ給油口（３箇所）に付属のオイラにて１０滴程給油します。**
  使用毎に給油すれば、水シールの寿命が長くなります。
- **点検･整備の表にしたがって各部オイルの点検･交換を行なってください。（２３ページ参照）**







⚠ 警　告

- ホースのヒビ割れ、亀裂、摩耗、硬化など、または接続金具のズレ、ゆるみ、漏れなどが認められたときは、直ちに新品に取替えてください。薬液の被爆を受け、思わぬ傷害を受ける恐れがあります。
- ホースは適正圧力範囲内で使用してください。ホース破損などの事故を招く恐れがあります。
- ホーストッパは必ず装着してください。ホース巻取り時に誤動作が生じた場合の巻込み防止具になっています。

各ホースを接続する

- 接続金具のパッキンを確認して、吸水ホースを動噴に接続し、ストレーナを組付け、エアを吸込まないように水没させます。
- パッキンを確認して余水ホースを動噴に接続し、他方はあばれて飛び出さないように紐や針金で吸水ホースなどにしっかりと結び付けます。

重　要

吸水ホース、余水ホースともに接続金具は強く締過ぎないようにしてください。パッキンが損傷することがあります。

⚠ 注　意

圧力切替え操作時に、余水ホースがあばれて薬液をかぶる恐れがありますので、固定してください。

- ホーストッパを１３０mスプレーホースの先端金具近くに固定します。

- １３０mスプレーホースに先ホースを接続します。
  DRS7530 先ホース；φ１４×2m
  DRS6530 先ホース；φ１３×2m
  DRS6530-12 先ホース；φ１１．５×2m
  DRS6530-10 先ホース；φ１０×2m
- 先ホースと散布用ランス（お客様品）を接続します。
  このとき接続金具パッキンの確認をしてください。
- スプレーホースの継手ネジはＩＳＯ規格です。旧ネジの部品を接続する場合は、あらかじめアダプタを用意しておいてください。

- 先バルブは閉めておきます。
- スプレーホースは耐圧力５．０ＭＰａ（５０ｋｇｆ／ｃｍ^2）を標準装備しています。
- 最小曲げ半径はホース外径の８倍です。無理な曲げ、引っ張り、折れ、ねじれなどのないように注意してください。
- 接続ネジの適合性を確認し、しっかりと締付けます。

重　要

適正な圧力を保つために、散布用ノズルの総吐出量は動噴の吸水量の９０%以下で使用してください。（余水量　１０%以上）

操作方法（コントロールボックスによる）

⚠ 警　告

エンジンの排気ガスには、死に至る有毒なガスが含まれています。室内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。

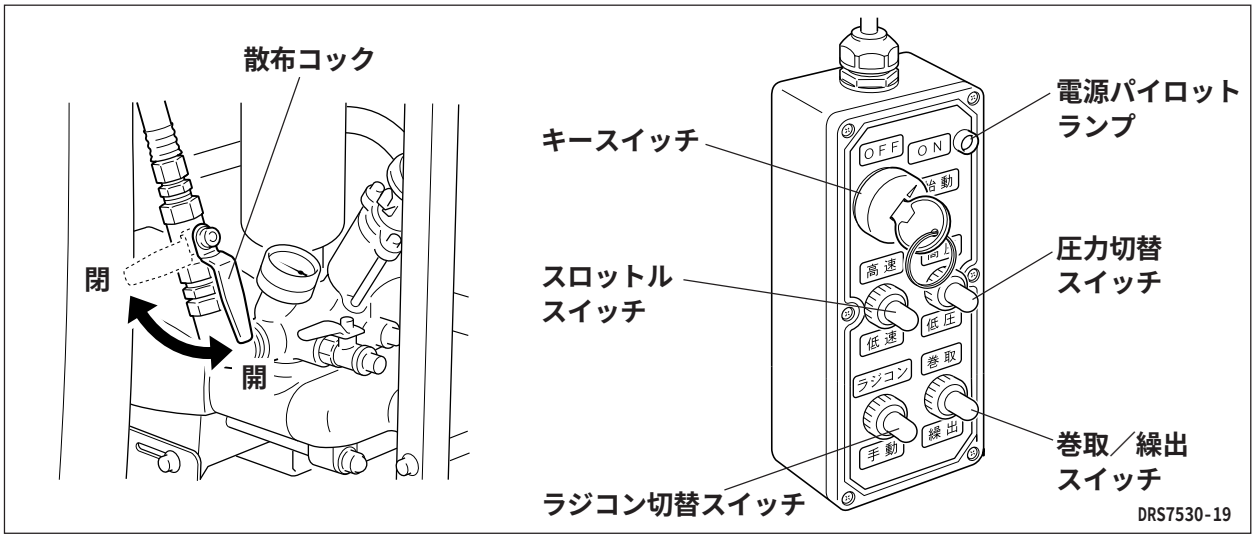
⚠ 注　意

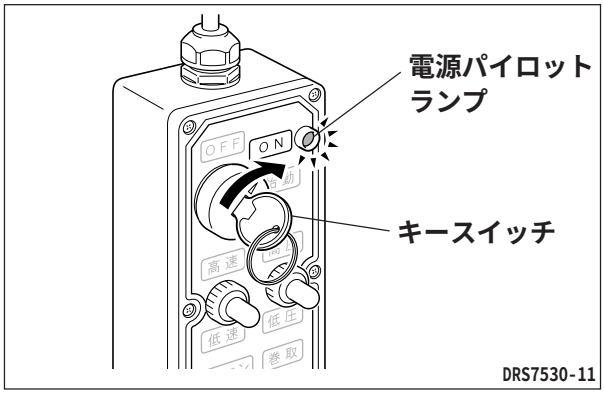
エンジンを始動する前に、各部が以下のようになっているか確認してください。

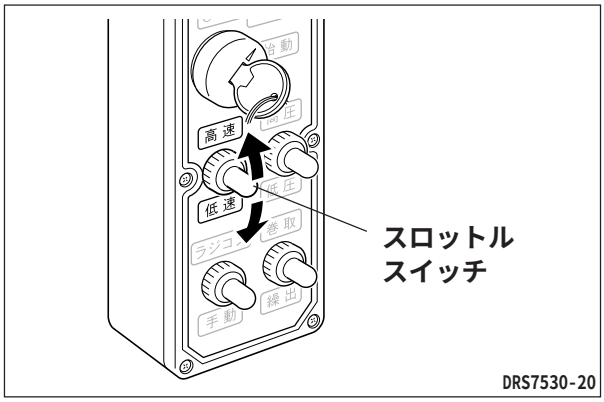
散布コック……「閉」の位置
巻取／繰出スイッチ…… 中立の位置
圧力切替スイッチ…… 低圧の位置
ラジコン切替スイッチ…… 手動の位置

重　要

- **エンジンの取扱説明書にしたがって操作してください。**
- **バッテリを外した状態でエンジンを始動しないでください。電気系統が破損します。**





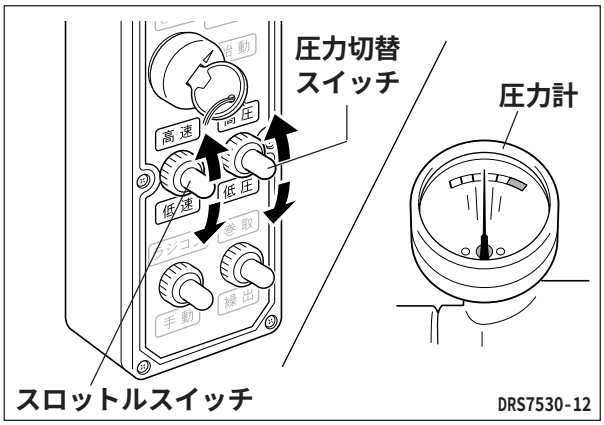


エンジンを始動する

1．キースイッチを「ON」にしてください。電源パイロットランプが点灯します。
***DRS7530*は、キースイッチを「ON」にするとブザーが鳴ります。**

2．キースイッチを「始動」の位置まで回し、エンジンを始動させてください。エンジンが始動したら、すぐにキーから手をはなし、スイッチが「ON」の位置に戻るのを確認してください。
***DRS7530*は、エンジンが始動するとブザーが鳴り止みます。**

3．寒冷時やエンジンが暖まっていないときなど始動が困難な場合は、スロットルスイッチを操作してエンジンのスロットルを少し開けてから始動させてください。

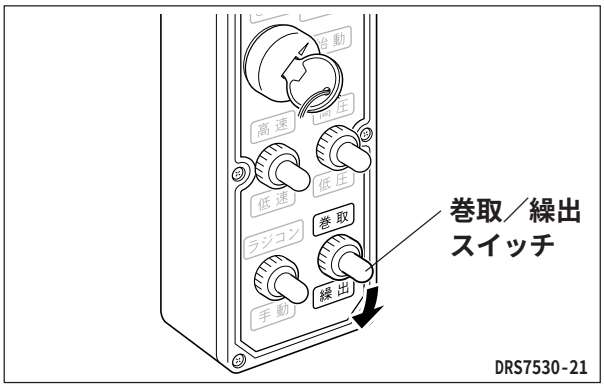


スロットルと圧力を調整する

圧力切替スイッチは上に倒すと高圧に、下に倒すと低圧に切替ります。
スロットルスイッチは上に倒すと高速に、下に倒すと低速にエンジン回転数を任意に設定できます。
エンジンの最低速⇔最高速には、５秒間かかります。

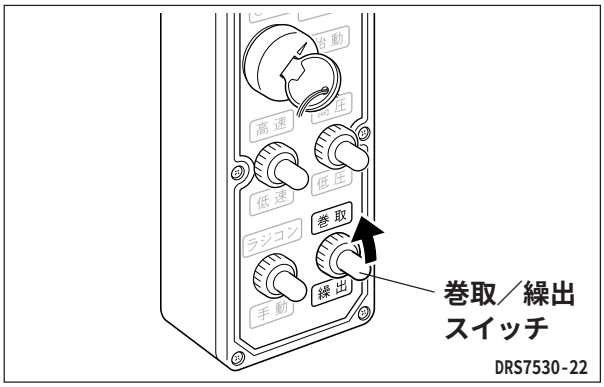
スプレーホースを繰出す

巻取／繰出スイッチを下に押し続けると、繰出クラッチが入り、ブレーキが解除され、ホースが繰出されます。スイッチをはなすと繰出しを止め、自動的にブレーキが掛かります。



重　要

- ホースは必要なだけ繰出し、たるませないでください。たるませるとホースを破損させたり、他の機器を損傷させる恐れがあります。
- ホースを繰出すときは、圧力をかけて繰出します。圧力を抜いたままではホースがつぶれて、効率良く繰出せない場合があります。
- ホースを繰出す場合、最後の２～３巻残したところで止めてください。ホースを全部繰出すとホースを破損させたり、繰出クラッチを損傷することがあります。

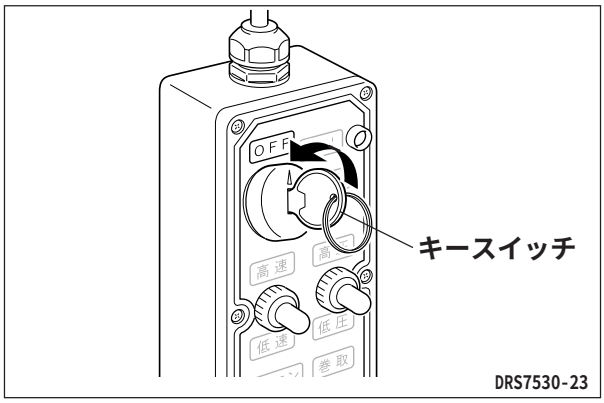


スプレーホースを巻取る

ホースを繰出している方向にホースガイドアームを向けます。
巻取／繰出スイッチを上に押し続けると、巻取クラッチが入り、ブレーキが解除され、ホースが巻取られます。スイッチをはなすと巻取りを止め、自動的にブレーキが掛かります。

重　要

- **巻取りのときはホースに圧力をかけたまま巻取ってください。**
  圧力を抜いて巻取るとホースがつぶれて巻取られ、次に圧力がかかったときにホースリールが破損します。
- ホース巻取りのときは、ホースガイドアームをホースを繰出した方向へ向けてください。ストッパにホースガイドを当てたままホースを巻取ると、ホースガイドに無理な力がかかりホースガイドを破損することがあります。
- 巻取られていないホースが残り少なくなったら、エンジンを低速にしてゆっくり巻いてください。
- スプレーホースの巻取りに異常な抵抗がかかったまま巻取りを行なわないでください。スプレーホース、並列巻取装置が破損します。



エンジンを停止する

キースイッチを「ＯＦＦ」の位置まで回してください。

操作方法（送信機による）

⚠ 警　告

エンジンの排気ガスには、死に至る有毒なガスが含まれています。室内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。

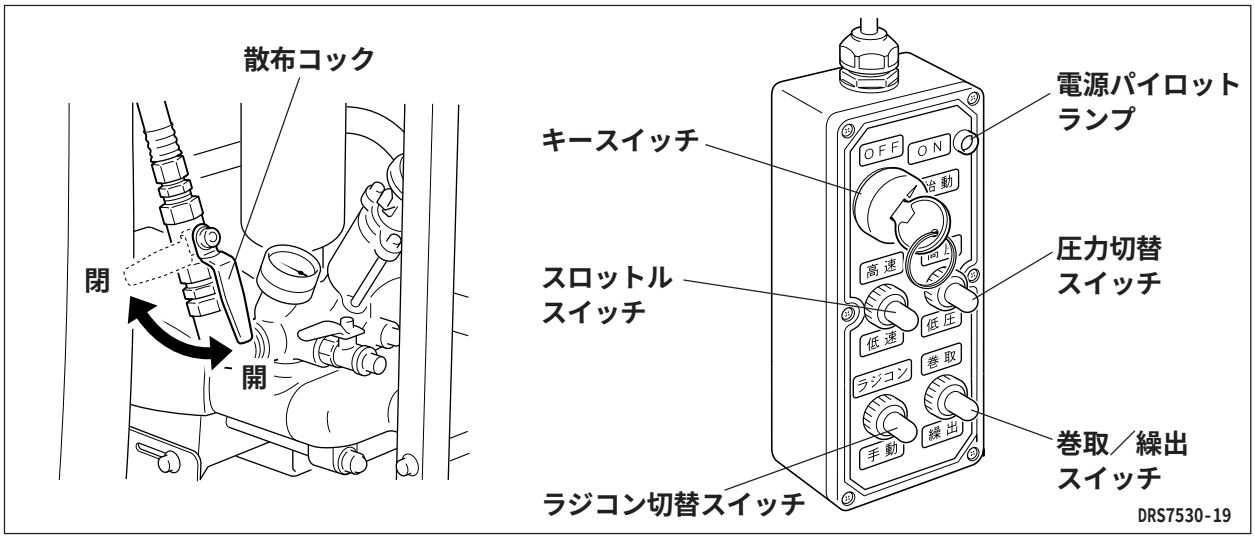
重　要

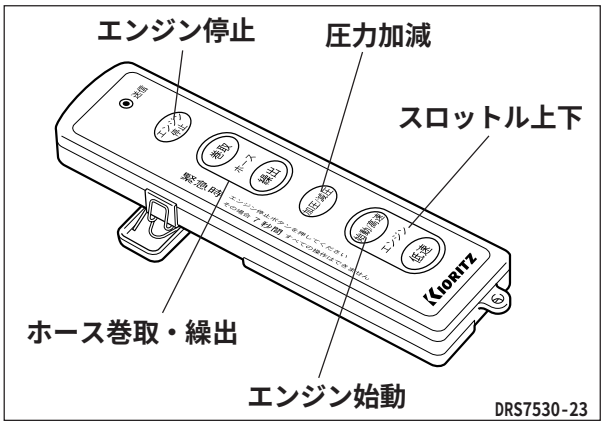
- **エンジンの取扱説明書にしたがって操作してください。**
- **バッテリを外した状態でエンジンを始動しないでください。電気系統が破損します。**
- **送信機、電気系統に水、薬液がかからないよう注意してください。故障の原因となります。また、送信機を自動車内など高温多湿の所に放置しないでください。故障の原因となります。**

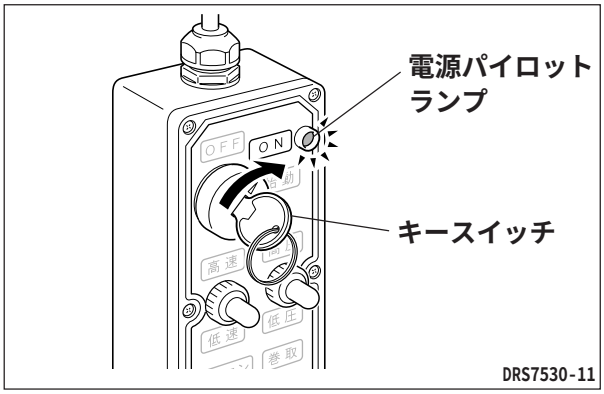
⚠ 注　意

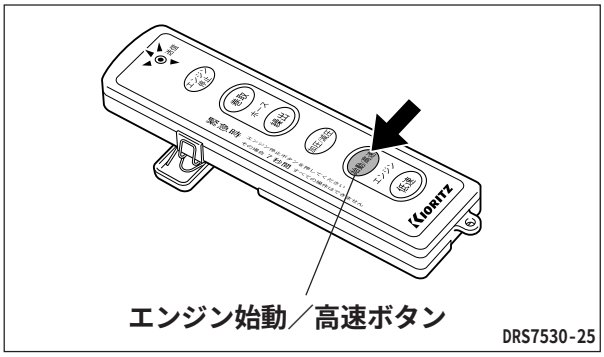
エンジンを始動する前に、各部が以下のようになっているか確認してください。

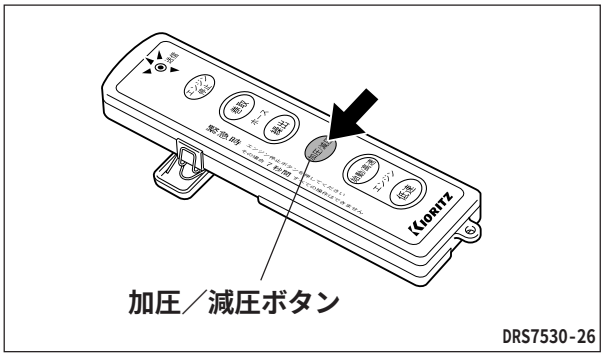
散布コック……「閉」の位置
巻取／繰出スイッチ……中立の位置
圧力切替スイッチ……低圧の位置
ラジコン切替スイッチ……ラジコンの位置

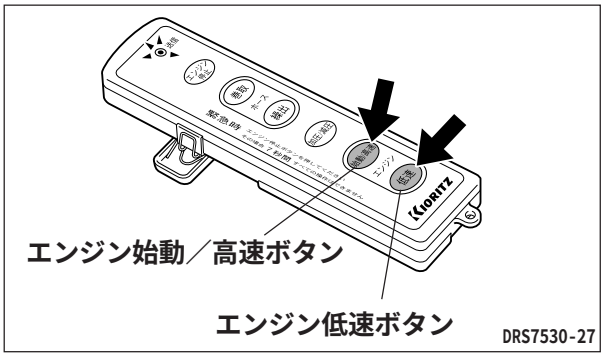












重　要

送信機を使ってできる操作は以下の６つです。

- **エンジン始動**
- **スロットルを操作する**
- **スプレーホースを巻取る**
- **スプレーホースを繰出す**
- **圧力を調整する**
- **エンジン停止**

エンジンを始動する

１．キースイッチを「ＯＮ」にしてください。電源パイロットランプが点灯します。
***DRS7530*は、キースイッチを「ＯＮ」にするとブザーが鳴ります。**

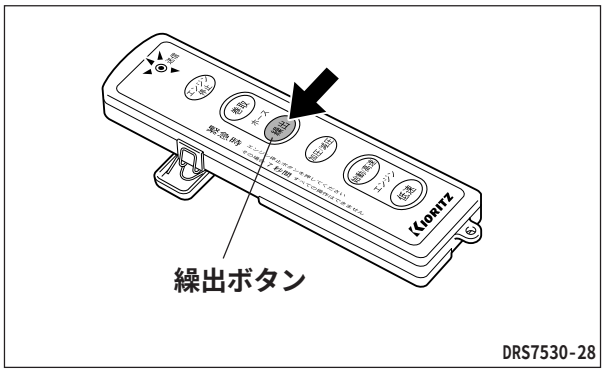
２．送信機のエンジン始動／高速ボタンを押すとスロットルが開きはじめ、約３秒後にセルモータが回転しエンジンが始動します。
***DRS7530*は、エンジンが始動するとブザーが鳴り止みます。**

圧力の操作

加圧／減圧ボタンを押す毎に、ポンプ圧力が高圧⇔低圧へと切替ります。

スロットルの操作

エンジン始動／高速および低速のボタンを押すことにより、運転中のエンジンの回転数を任意に設定できます。
エンジンの最低速⇔最高速には、５秒間かかります。

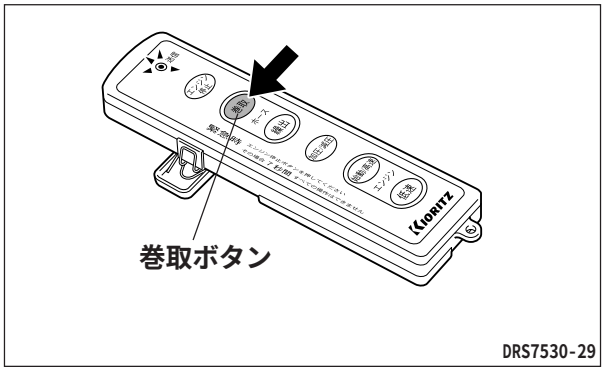


スプレーホースを繰出す

送信機の繰出ボタンを押し続けると、繰出クラッチが入り、ブレーキが解除され、ホースが繰出されます。送信機の繰出ボタンから指をはなすと繰出しを止め、自動的にブレーキが掛かります。

重　要

- ホースは必要なだけ繰出し、たるませないでください。たるませるとホースを破損させたり、他の機器を損傷させる恐れがあります。
- ホースを繰出すときは、圧力をかけて繰出します。圧力を抜いたままではホースがつぶれて、効率良く繰出せない場合があります。
- ホースを繰出す場合、最後の２～３巻残したところで止めてください。ホースを全部繰出すとホースを破損させたり、繰出クラッチを損傷することがあります。

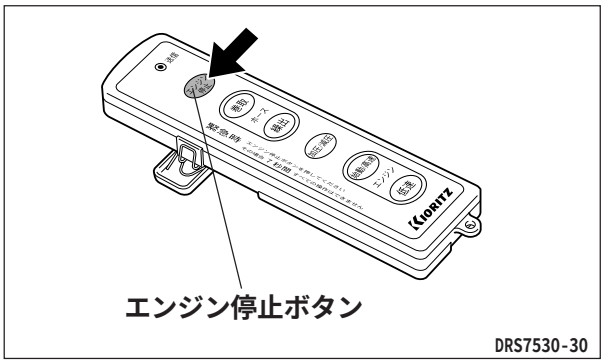


スプレーホースを巻取る

ホースを繰出している方向にホースガイドアームを向けます。
送信機の巻取ボタンを押し続けると、巻取クラッチが入り、ブレーキが解除され、ホースが巻取られます。送信機の巻取ボタンから指をはなすと巻取りを止め、自動的にブレーキが掛かります。

重　要

- **巻取りのときはホースに圧力をかけたまま巻取ってください。**
  圧力を抜いて巻取るとホースがつぶれて巻取られ、次に圧力がかかったときにホースリールが破損します。
- ホース巻取りのときは、ホースガイドアームをホースを繰出した方向へ向けてください。ストッパにホースガイドを当てたままホースを巻取ると、ホースガイドに無理な力がかかりホースガイドを破損することがあります。
- 巻取られていないホースが残り少なくなったら、エンジンを低速にしてゆっくり巻いてください。

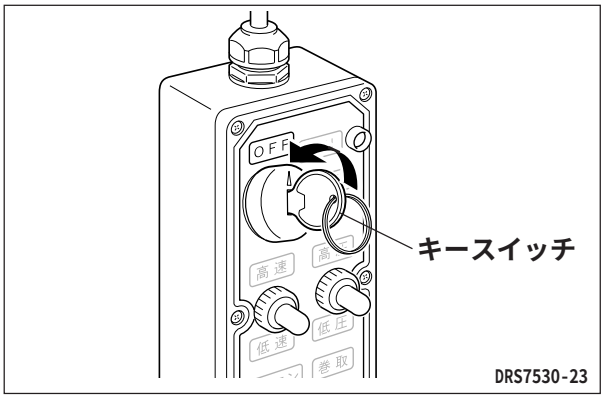


エンジンを停止する

1．エンジン停止ボタンを押して、エンジンを停止してください。
DRS7530は、エンジンが停止するとブザーが鳴ります。

⚠ 注　意

安全のため、送信機のエンジン停止ボタンで停止した場合は、その後７秒間全ての操作ができません。

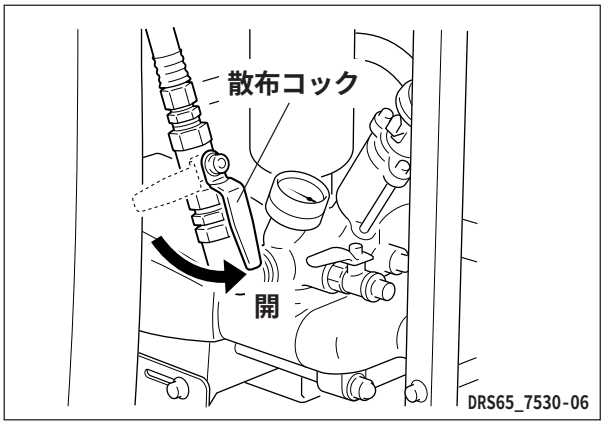


2．キースイッチを「ＯＦＦ」の位置まで回してください。
DRS7530 は、同時にブザーも鳴り止みます。

重　要

エンジンキーを「ON」のままにしておくと、パイロットランプが点灯したままになり、バッテリを消耗させます。

散布作業



散布作業の開始

1．散布コックを「開」の位置にしてください。

重　要

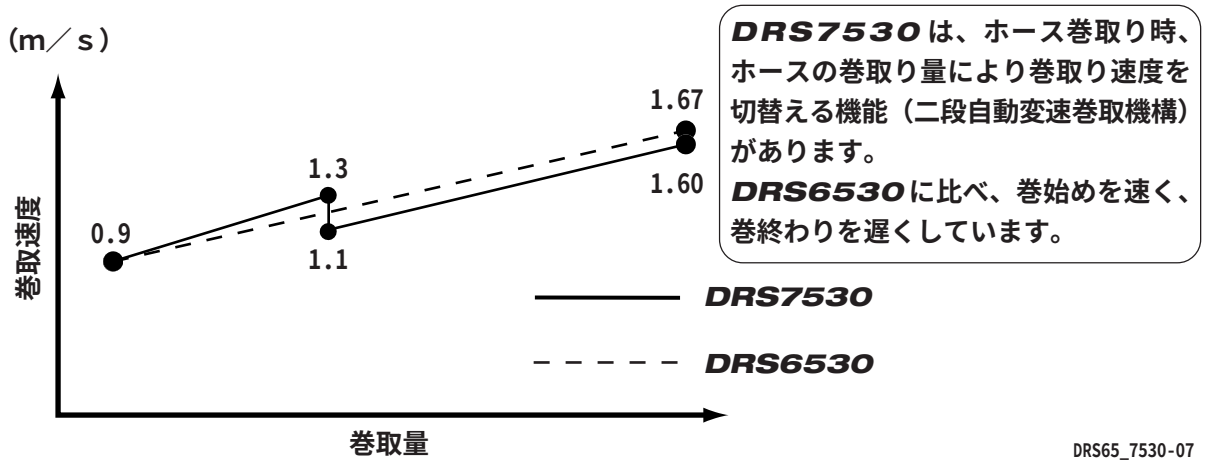
散布コックを途中で止めての作業はしないでください。

2．コントロールボックスまたは送信機の操作により散布作業を開始します。

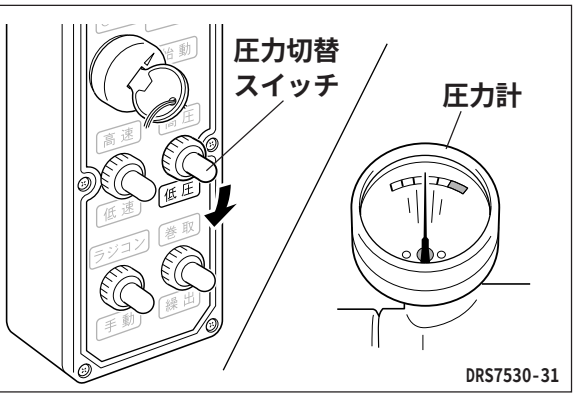
⚠ 警　告

- 散布作業を行なうときは本機をしっかり固定してください。本機の固定が不充分ですと、作業中に本機が落下、移動して大変危険です。
- スプレーホースの巻取り時にはホースを身体にしばり付けないでください。

< ホース巻取りの速度について >



DRS7530 は、ホース巻取り時、ホースの巻取り量により巻取り速度を切替える機能（二段自動変速巻取機構）があります。
DRS6530 に比べ、巻始めを速く、巻終わりを遅くしています。



作業が終わったら

1．吸水ホースをきれいな水の中に入れて噴霧を行ない、噴霧機の内部、ホース、ノズルの清掃を行ないます。
2．ポンプ内の水を抜くため、圧力を下げて吸水ホースを水から出して余水ホースから空気が出るまで運転を続けてください。



重　要

カラ運転の状態となりますので、５分以上は行なわないでください。

重　要

運転中にプランジャ給油口からオイルを１０滴ほど給油してください。

3．本機の外側や車輪に付いている薬剤、泥などの汚れた部分は、きれいな水で洗い流してください。



重　要

本機の外側、車輪を水で洗うときは、電気系統部品やコントロールボックスに水がかからないようにしてください。
水洗いの際は、洗浄機などの高圧洗浄は絶対にしないでください。故障の原因になります。

輸送・移動時の注意

動力噴霧機を輸送・移動するときには、以下の点を守ってください。

- 必ずエンジンを停止する。
- 使用後に輸送・移動するときには、エンジン、マフラが冷えるまで待つ。
- 燃料をカラにする。
- 動力噴霧機に衝撃をあたえないようにする。

点検・整備

- 点検・整備は、充分な広さがあり、安定した場所で行なってください。
- タバコ、その他の火気は厳禁です。

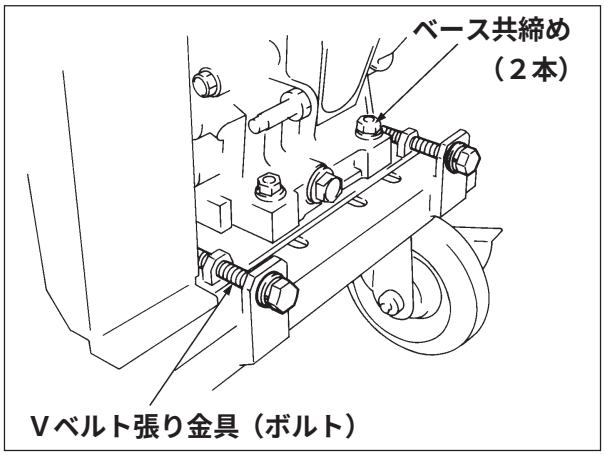
部 品 名	整備内容	整 備 時 期 他
トラバースカム軸	給油	使用前
Ｖベルト	点検	新品使用開始後５時間目、使用時期前
	交換	使用時期前
駆動チェーン	給油	毎年
	点検	新品使用開始後５時間目、使用時期前
繰出用駆動軸	給油	使用前
ホースガイドローラ	給油	２０時間使用毎
ホースリール軸	グリース	使用前（グリースカップのキャップを回す）
繰出しローラ	グリース	作業終了後
移動枠ガイド棒	給油	使用前
エンジン	オイル交換	新品時２０時間、通常５０時間毎
		種類：ＣＣ級エンジンオイル　ＳＡＥ１０Ｗ－３０相当
		規定量：１．６Ｌ
動噴	オイル交換	初回５０時間、以降１００時間毎 ※白濁している場合は交換
		種類：エンジンオイル　ＳＤまたはＳＥ級ＳＡＥ＃３０
		規定量：１．２Ｌ
プランジャ	給油	５～１０時間使用毎

重　要

- この表の期間にしたがって整備・点検を行なってください。ただし、実際の使用条件や使用回数により必要と判断した場合は整備・点検の回数を増やしてください。
- 毎月、毎年の整備・点検を行なった日付を記録してください。
- １年に１回以上は、お買い求めの販売店に、定期点検を依頼してください。
- Ｖベルトと駆動チェーンは、新品使用開始時に初期伸びがあります。
  新品使用開始後、５時間目ぐらいにＶベルトと駆動チェーンを張り直して調整してください。（２４ページ参照）

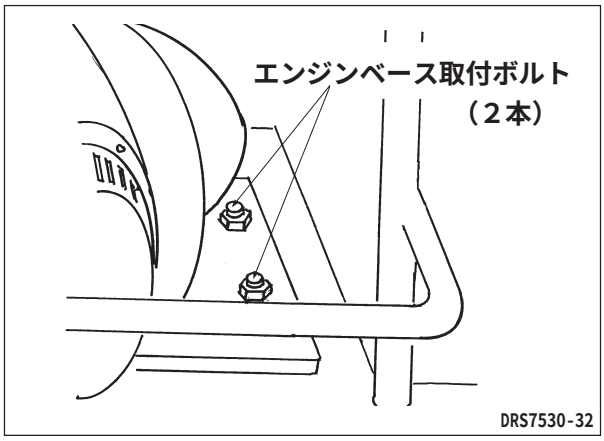
重　要

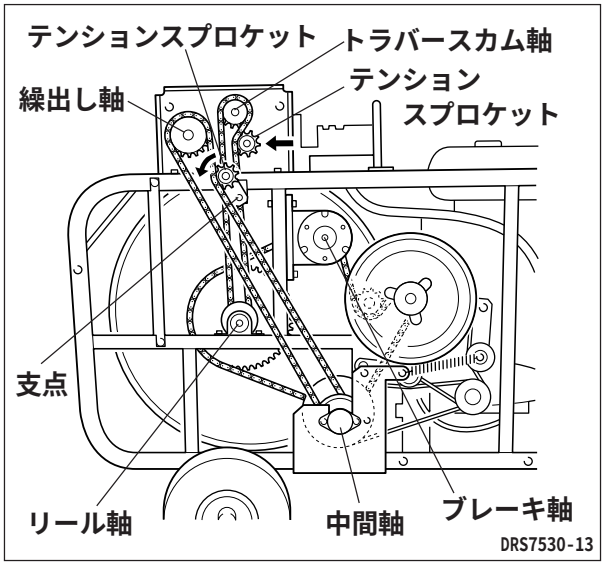
エンジン・動噴・バッテリの取扱説明書にしたがって各部品の保守・整備を行なってください。



Ｖベルトを調整する

● **エンジンとポンプの間**
エンジンとエンジンベースを共締めしているボルト（２本）とリール側のエンジンベース取付ボルト（２本）をゆるめ、ベルト張り金具で、エンジンベースを移動して、Ｖベルトの張りを適切な強さにしてください。

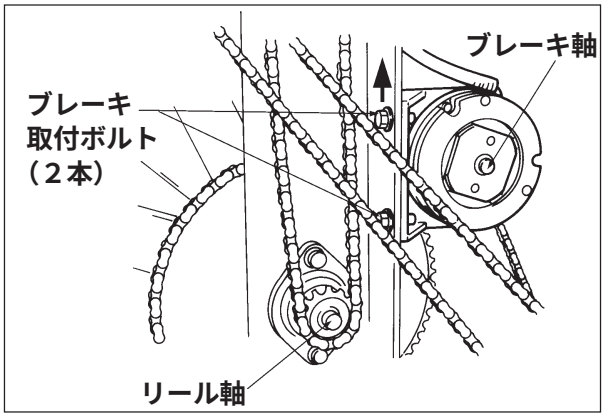




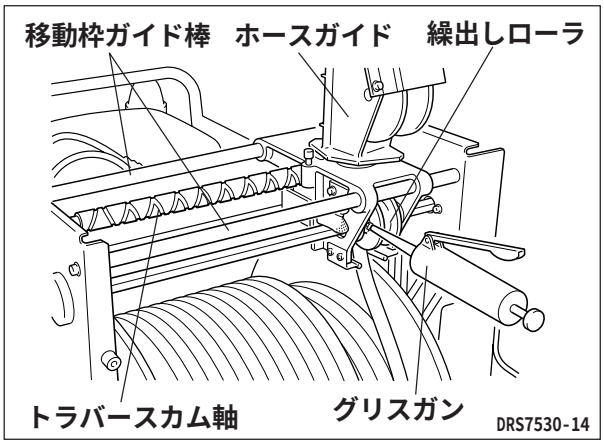
チェーンを調整する

● **リール軸とトラバースカム軸の間**
チェーンテンションスプロケットのネジをゆるめ、矢印の方向へ押し、チェーンのたるみのないところで締めてください。

● **中間軸と繰出し軸の間**
チェーンテンションスプロケットの支点のネジをゆるめ、矢印の方向へ押し、チェーンのたるみのないところで締めてください。

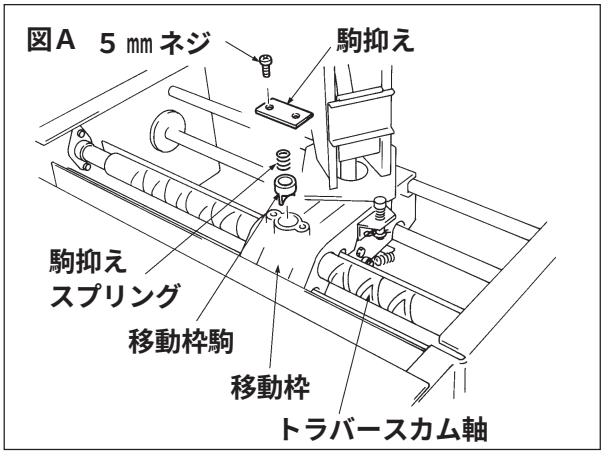


● **中間軸とリールの間**
ブレーキ取付金具のボルト（２本）をゆるめ、矢印の方向へ移動し、チェーンのたるみのないところで締めてください。



各部の注油・給油

- 作業後、繰出しローラのグリスニップルからグリスガンなどにてグリスを充分注入後､ホースガイドを一往複させてください。
- 点検・整備の表にしたがって給油を行なってください。（２３ページ参照）



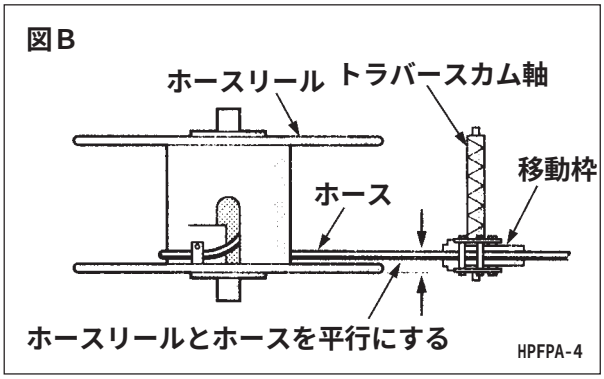
移動枠の駒を交換する場合は

本機を長期間使用しホースが並列に巻取られず局所で巻取られる場合は並列装置の移動駒が消耗していますので新品と交換してください。

- 交換手順

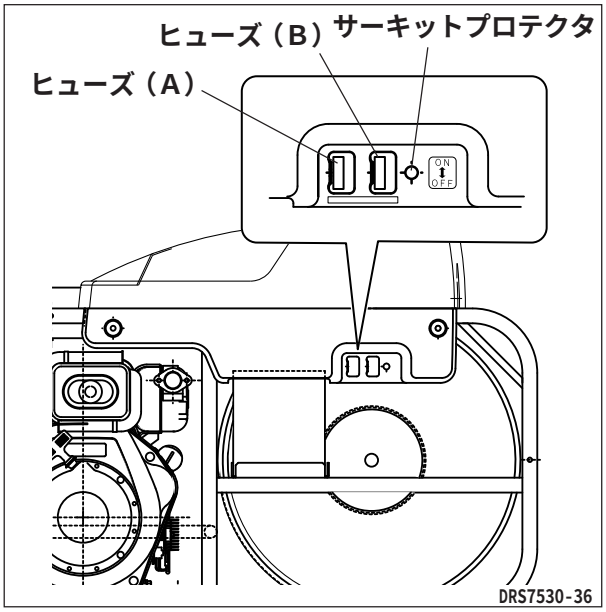
１）上部カバーを外します。
２）駒抑えを取付けているビス(２本)を外し駒抑え、駒抑えスプリング、移動枠駒を取出します。(図A参照)
３）ホースを全部引出します。
４）移動枠の中心をホースとリールと平行の位置にします。(図B参照)
５）移動枠駒をトラバースカム軸の溝にはめ込みます。
６）駒抑えスプリングを入れ、駒抑えを押し付け、ビスでしっかりと締付けます。
７）ホースを巻きます。

※ 部品組込みの際､オイルを適量注入してください。



ヒューズ、サーキットプロテクタの点検

- 本機バッテリ側の側面には、ヒューズ（１５A）とサーキットプロテクタがあります。
  作業時には､サーキットプロテクタは常時「ON」の状態､またヒューズは切れていないことを確認してください。
  ヒューズ（A）:エンジン停止ソレノイド保護用
  ヒューズ（B）:主回路保護用
  サーキットプロテクタ:圧力切替用モータ保護用
- ヒューズを交換する場合は、自動車用ヒューズ（１５A）を使用してください。



不具合と対策

● 使用中に不具合が起きたときには、動噴、エンジン、バッテリの取扱説明書、または次の表にしたがって点検･調査の上対策を施してください。

● もし､不具合が起きたときには､次に記す対策で多くの場合は正常に戻ります｡万一､戻らない場合や､ご不明な点がありましたら､お買い求めの販売店にご相談ください。
お問い合わせの際は､その状況と合わせて｢型式名｣｢機械番号｣をお知らせください。

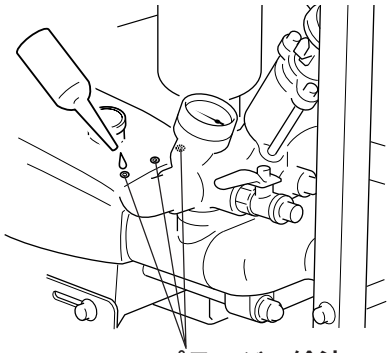
不具合事項	原　因	対　策
吸水しない、または途中から吸水しなくなった。	1）吸水ホースが破損しているか折れている。	● 破損していたら交換する｡折れていたらのばす。
	2）吸水ホースとニップルとの締付不良またはパッキンの脱落。	● パッキンの入っていることを確かめてから充分締めなおす。
	3）吸込ストレーナが液面から浮上がっている。	● 浮上がらないよう固定する。
	4）吸込ストレーナの周りにゴミが付着している。	● ゴミを除き清水でよく洗う。
	5）一旦空気を吸込み､調圧弁が加圧状態のままである。	● 圧力切替スイッチを低圧側にするかまたは加圧／減圧ボタンで低圧に切替える。
	6）動噴の吸・排水弁に砂、ゴミが付いている。	● 分解し、よく洗い落とす。
	7）吸・排水弁が摩耗している。	● 新品と交換する。
	8）水シールが摩耗して空気を吸っている。	● 新品と交換する。（販売店へ）
余水ホースから気泡が出る。	1）吸水ホースの取付ネジがゆるんでいる。	● パッキンの入っていることを確かめてから充分締めなおす。
	2）吸水ホース用パッキンがすり切れている。	● 新品と交換する。
	3）吸水ホースに穴があいている。	● テープなどを巻いて穴をふさぐか､新品と交換する。
	4）シリンダ､弁室の締付ナットがゆるんでいる。	● ナットを交互に増締めする。
	5）水シールが摩耗している。	● 新品と交換する。（販売店へ）
圧力が上がらない。	1）圧力計の入口孔をゴミで塞いでいる。	● よく掃除する。
	2）圧力計が破損している。	● 新品と交換する。
	3）ノズルからの噴霧量が多く余水がない。	● 全吐出量の１０%以上を余水へ戻すようノズルを替える。
	4）調圧弁、調圧弁座が甚しく摩耗している。	● 新品と交換する。
	5）ピストンパッキンが摩耗している。	● 新品と交換する。（販売店へ）

不具合事項	原　因	対　策
圧力計のフレが大きい。	1）吸込ストレーナの周りにゴミが付着している。	● ゴミを除き清水でよく洗う。
	2）吸水ホースが折れている。	● 折れをなおす。
	3）エアチャンバ内の空気が抜けきってエアクッションがなくなっている。	● 吸込ストレーナをタンクから取出す。圧力切替スイッチを低圧側にするかまたは加圧／減圧ボタンで低圧に切替え、余水ホースから水が出なくなるまで空気を吸わせる。
	4）空気を吸込んでいる。	● ホース金具などを締めなおす。ホースパッキンを確認する。
	5）動噴駆動Ｖベルトがスリップしている。	● ベルトを張りなおすか、新品と交換する。
	6）吸・排水弁のいずれかに不具合がある。	● 分解して点検交換をする。
	7）調圧弁、調圧弁座にゴミが付いている。	● よく洗い落とす。
	8）調圧弁、調圧弁座に傷がある。	● 新品と交換する。
	9）エンジンの回転にムラがある。	● エンジンを調整する。（取扱説明書参照）
圧力を調整したのち散布を始めると圧力の降下がはげしい。	1）下記のいずれかが原因で余水量が吸水量の１０％以下である。（吐出過多）	
	(a)動噴回転数が不足している。	● 回転を上げる。
	(b)噴口が摩耗して散布量が多すぎる。	● 新品と交換する。
	(c)噴頭数が多すぎる。	● 数を減らす。
	2）調圧弁抑えの動きが悪い。	● 分解して掃除をする。
	3）調圧弁、調圧弁座が甚しく摩耗している。	● 新品と交換する。
スプレーホースの巻取り（または繰出し）が不調。	1）ラジコン送信機の乾電池が消耗している。	● 全て新品と交換する。（単三乾電池３ヶ）
	2）受信機の受信状態が悪い。	● アンテナ状況をよくする。（１４ページ参照）
	3）巻取Ｖベルト（または繰出Ｖベルト）のゆるみ。	● 新品と交換する。
	4）巻取用（または繰出用）電磁クラッチの摩擦面にゴミ・油分などが付着している。	● 摩擦面を掃除する。
	5）移動枠の動きが悪い。	● 各部に給油をし、動きを確認する。（２５ページ参照）
ラジコンが作動しないまたは不調。	1）全てのラジコンが作動しない。	● 送信機の乾電池を新品に交換する。（１４ページ参照） ● 本機の近くで、直接受信アンテナへ向けて確認する。
	2）送受信が誤作動を起こす。	● 本機を置く位置を修正してみる。 ● 受信アンテナの変更。（１４ページ参照）
キースイッチを「ＯＮ」にしても電源が入らない。	1）ヒューズ（Ｂ）が切れている。	● ヒューズ（１５Ａ）を交換する。
	2）バッテリが上がっている。	● バッテリを充電または新品と交換する。
エンジンが停止できない。	1）ヒューズ（Ａ）が切れている。	● ヒューズ（１５Ａ）を交換する。
	2）バッテリが上がっている。	● バッテリを充電または新品と交換する。
サーキットプロテクタがひんぱんに「ＯＦＦ」になる。	圧力切替用モータ部のコック開閉の動きが悪い。	● コックの取付位置を調整する。（販売店へ） ● コックを交換する。（販売店へ）

長期保管

重　要

- 冬期間、水が凍結する恐れのある地域では必ず水抜きを行なってください。
- 凍結による不具合などは、メーカの責任外となりますのでご注意ください。



重　要

長期間使用しない場合には、送信機の電池は必ず抜いておいてください。

- 長期保管する前には必ず以下の手順にしたがってください。

水抜き

きれいな水を数分間噴霧し、薬液を残さないよう洗浄してください。その後、シリンダ下部のドレンボルトを外しエア抜きボタンを押して、１分間カラ運転を行ない完全に水抜きしてください。

重　要

運転中にプランジャ給油口からオイルを１０滴ほど給油してください。

保管場所

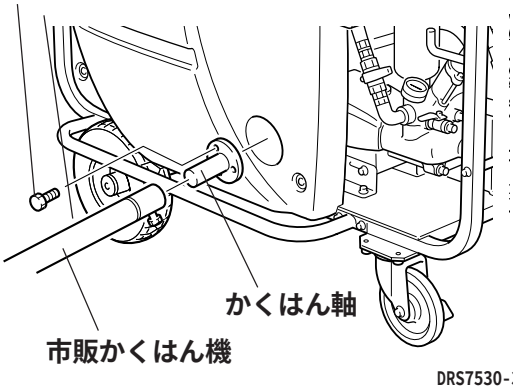
噴霧機は以下のような場所に保管してください。

- 直射日光、熱、火気にさらされない。
- 湿気、ホコリがない。
- 安定している。

かくはん機を取付ける場合

かくはん機は「右回転用」を使用してください。
市販のかくはん機を取付ける場合、かくはん軸とボルト（付属部品）を使用します。

名称	部品コード	個数
かくはん軸	Ｋ２３０－０００３０	１
ボルト	９００１４２－０６０１６	３



取付け方法

１．本機サイドカバーのかくはん軸取出し口部分のキャップを外します。

２．付属のかくはん軸をボルトＭ６×１６（３本）で本機のポンプ軸端部へ取付けます。

３．かくはん機の取付けは、かくはん機の取扱説明書をよく読んでください。

仕　様

項　目		単 位	DRS7530	DRS6530(T)	DRS6530(T)-12	DRS6530(T)-10
長さ×幅×高さ		mm	1250 × 860 × 1330	1250 × 860 × 1500		
質　量		kg	275	242	240	236
ポンプ	型　式	－	HP753	HP653A		
	回転数	r/min	900	920		
	常用圧力	MPa（kgf/cm²）	5.0（50）	5.0（50）		
	吸水量	L/min	60	42.5		
エンジン	型　式	－	ヤンマー L90ASES	ヤンマー L70ASES		
	排気量	mL	387	296		
	最大出力	kW（PS）	6.6（9）	4.9（6.7）		
	燃　料	－	軽油	軽油		
	始動方式	－	セルスタータ	セルスタータ		
送受信機	形　式	－	ワイヤレスリモコン自動巻取り			
	リモコン方式	－	VHF 帯無線・6 チャンネル（特小）			
	送信機電源	－	DC4.5V（単三乾電池 3ヶ）			
	受信アンテナ	mm	175（全長）　着脱タイプバー式			
巻取装置	巻取り方式	－	自動並列巻取り （二段自動変速巻取機構付）	自動並列巻取り		
	駆動方式	－	チェーン（電磁クラッチ）			
繰出装置	繰出し方式	－	摩擦ローラー方式			
	駆動方式	－	チェーン（電磁クラッチ）			
スプレーホース		φ mm × m	14 × 130	13 × 130	11.5 × 130	10 × 130
ブレーキ方式		－	電磁ブレーキ（クラッチ連動方式）			
ラジオコントロール		－	・エンジン始動 ・スロットル上下 ・圧力加減	・ホース巻取り ・ホース繰出し ・エンジン停止		

※より良い製品を造るために予告なく仕様を変更する場合もあります。

株式会社 共立

東京都青梅市末広町 1-7-2　〒 198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　〒 004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東 5-1-50　〒 984-0002　☎022-288-0511(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県西春日井郡西枇杷島町宮前町 1-39　〒 452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田 566-159　〒 701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原 5-3-7　〒 816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X753-001 06 2
X753615-110 2